

SABO NEWS LETTER

第 77 号【発行日】平成 17 年 4 月 28 日（木）【発行】（社）全国治水砂防協会

目 次

1. 目次・行事予定	1
2. 国土交通省砂防部長よりご挨拶	2
3. 国土交通省砂防部組織概要（H17.4.1 現在）	4
4. 国土交通省砂防部配置図（H17.4.1 現在）	5
5. 総合的な土砂災害対策について（提言）	6

行 事 予 定

- 5/10（火）全国治水砂防協会監事会（砂防会館特別会議室 11：00 ～）
- 5/17（火）全国治水砂防協会評議員会（砂防会館六甲会議室 11：00 ～）
- 全国治水砂防協会理事会（砂防会館霧島会議室 13：00 ～）
- 全国治水砂防協会参与会（砂防会館穂高会議室 14：30 ～）
- 全国治水砂防協会直轄事務所長連絡会（砂防会館立山会議室 16：00 ～）
- 全国治水砂防協会代表参与会（砂防会館穂高会議室 16：30 ～）
- 5/18（水）全国治水砂防協会第 69 回通常総会（砂防会館利根会議室 11：00 ～）

ご質問、ご意見、ご感想、記事の詳細内容等、お問合せ先

社団法人 全国治水砂防協会

担当 岡本，宮内，阿部，畑川，藤川

住所 〒 102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5 砂防会館内

電話 03-3261-8386 FAX 03-3261-5449 E-mail：kyokai@sabo.or.jp

砂防に関する最新情報は砂防協会ホームページをご覧ください

<http://www.sabo.or.jp/>

会員の皆様へ

四月を迎え一斉に桜木や千草の花が咲き始め、心地よい季節となってきました。

新年度予算は三月中に成立しましたが、一般公共事業は対前年比マイナス4%の緊縮予算でスタートしました。砂防関係事業費は新たな制度の「総合流域防災事業」を入れて前年より約5%減少の規模で実施していきます。この総合流域防災事業は、昨年の地方分権、三位一体改革の議論のなかで地方の自主性・裁量性をより高めるための補助制度として創設したもので、水害対策と土砂災害対策、ハード対策とソフト対策を一体的に実施し豪雨災害等に対する総合的な防災対策を推進する事業であります。地方の創意工夫によってより計画的で実効性のある河川、砂防等の対策が進むことが期待されます。

また連年厳しい予算が続いていますが、頻発する土砂災害等に対し安全で、安心できる地域社会を確保するために総合的な豪雨対策を推進していきます。昨年の梅雨前線と台風による豪雨がもたらした激甚な災害に対し、災害実態からの新たな課題に的確に対応し、これまでの災害対策を総点検し改善を図るため「豪雨災害対策総合施策委員会」を設置し、また豪雨だけでなく中越地震や福岡県西方沖地震あるいは火山活動によって土砂災害が頻発しており、災害実態をより詳細に分析して施策に反映させるため「土砂災害対策検討会」を設置して、有識者、専門家等の意見を伺い、それぞれの委員会からの提言としてまとまったので、施策として関係機関の協力を得ながら取り組んでいくことになります。主な施策として

(次項へ続く)

- ◇ 新技術やコスト縮減による土砂災害対策の整備促進
- ◇ 災害時要援護者関連施設、避難所および孤立化するおそれのある集落の保全
- ◇ 流木災害対策の推進
- ◇ 地震による地すべりの移動メカニズムの研究や河道閉塞ダムの対策の検討
- ◇ 的確な判断・行動を実現するための防災情報の提供の充実
- ◇ 土砂災害警戒情報の提供の推進
- ◇ 災害時要援護者野の避難誘導體制の充実
- ◇ 土砂災害防止法による区域指定の推進

などハード対策とソフト対策が一体となった減災体制を確立していくことになります。

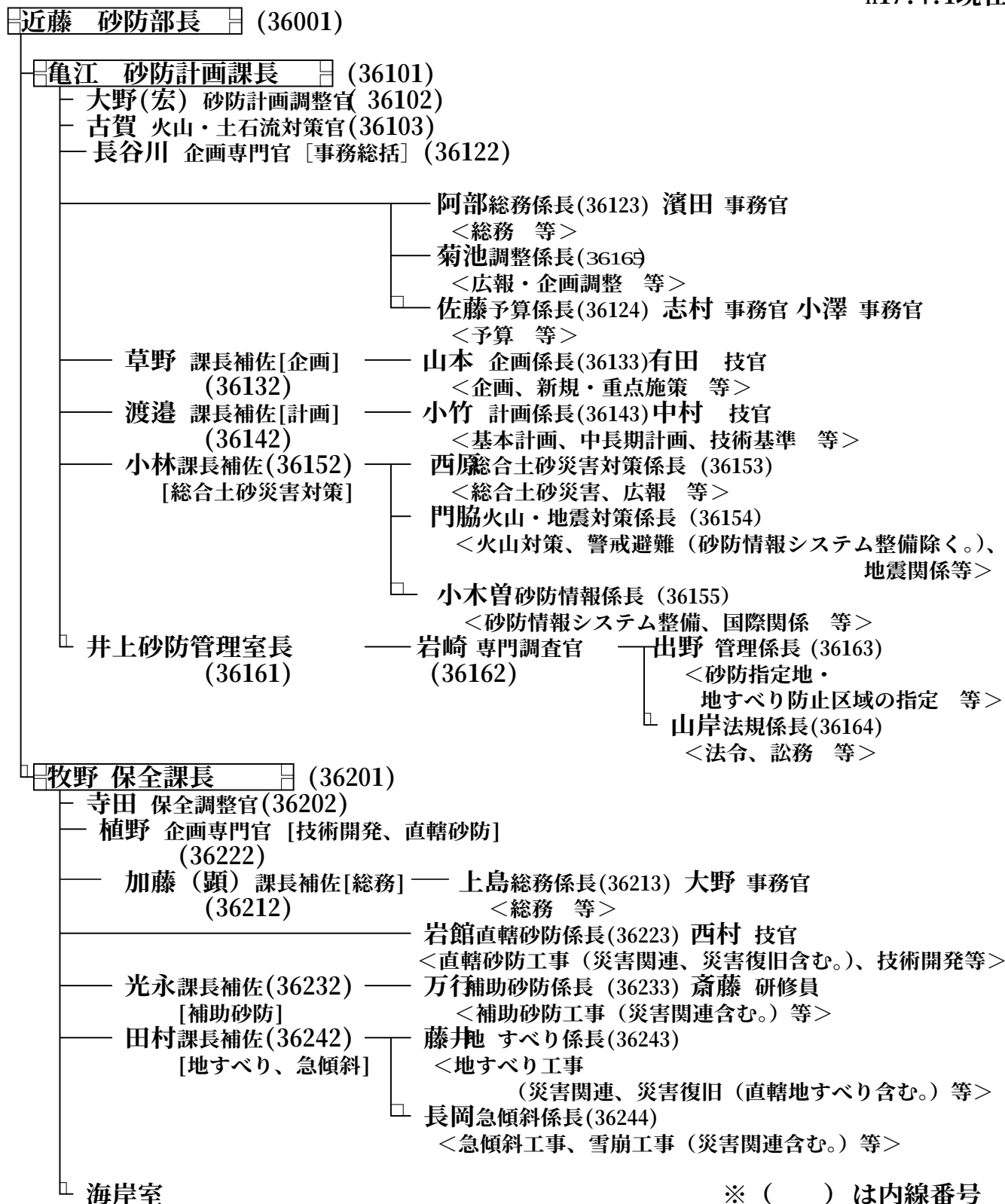
山が崩れたり、土石流が流下したり、斜面の地盤が亀裂で今にも崩壊しそうであったりして避難生活が続いている地区が中越地震の被災地をはじめまだ多くあり、災害関連緊急砂防事業や激特砂防事業による復旧が本格的に進捗するのはこれからの所も多く、昨年の災害はまだまだ尾を引いています。少しでも早く災害に強い地域に復興できるよう支援してまいります。

新年度は市町村合併が進み砂防協会会員の構成もかなり変わることが予想されますが、こうした時こそ会員の皆様の砂防事業にたいする御支援、御協力がより大事でありますので引き続きよろしく御願い致します。

砂防部長 近藤 浩一

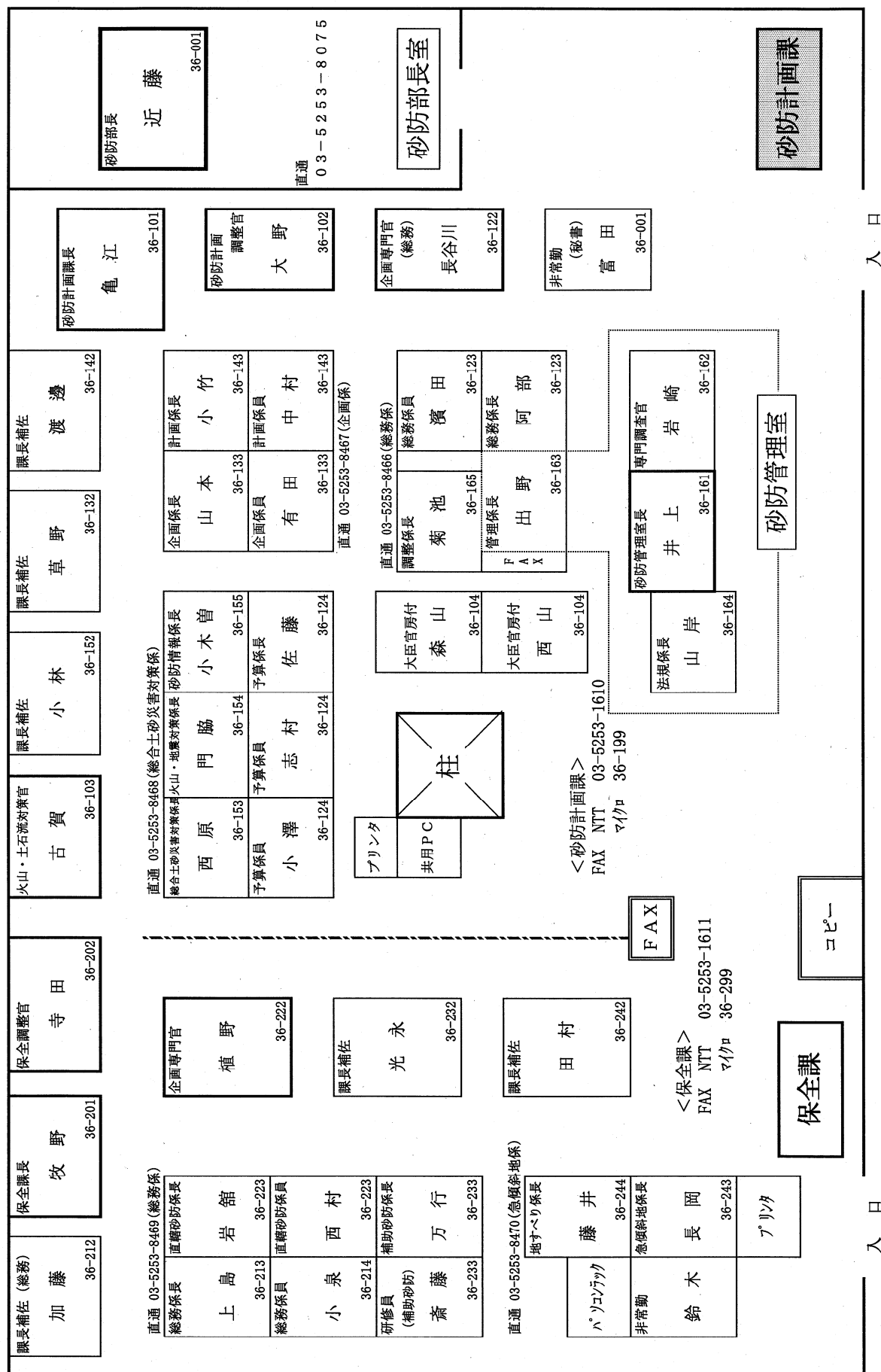
国土交通省砂防部組織概要

H17.4.1現在



〒100-8918

東京都千代田区霞が関2丁目1番3号
TEL 03-5253-8111 (代表)



〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2-1-3
代表 03-5253-8111

平成17年4月1日現在

記者発表

土砂災害対策検討会の提言について

「総合的な土砂災害対策について一多発する土砂災害対策の実態を踏まえて」

平成 17 年 3 月 31 日
国土交通省河川局砂防部

土砂災害対策検討会の提言が取りまとまりましたのでお知らせいたします。

1. 提言の概要

検討会の提言は、「総合的な土砂災害対策について一多発する土砂災害対策の実態を踏まえて」と題し、①災害そのものに係る課題への対応、②情報提供・伝達に係る課題への対応、③警戒避難に係る課題への対応に分類され、今後、早急に対応すべき施策について提言されました。

提言及び参考資料は下記アドレスよりダウンロードしてください。

http://www.mlit.go.jp/river/sabo/kisya/200501_06/050331/050331.html

- ・資料－1 提言 (PDF ファイル 324KB)
- ・資料－2 提言の概要 (PDF ファイル 24.9KB)
- ・資料－3 提言の主な施策概要 (PDF ファイル 50.9KB)
- ・資料－4 提言の施策概要 (PDF ファイル 1.17MB)

問 い 合 わ せ 先
国土交通省 河川局 砂防部 砂防計画課
砂防計画調整官 大野 宏之 (内 36102)
課 長 補 佐 小林 幹男 (内 36152)
〒 100 － 8918 東京都千代田区霞ヶ関 2 － 1 － 3
TEL03 － 5253 － 8111 (代表) 03 － 5253 － 8468 (直通)